



今月の聖句 「彼らは、『さあ、天まで届く塔のある町を建て、有名になろう。そして、全地に散らされることのないようにしよう』と言った。」 創世記 第11章4節

会長/山田 英樹  
副会長/大門 和彦  
金庫/藤 弘明  
書記/香山 章治  
山口 雅也  
会計/内田 聖彦

### クラブ主題

## It's Coming ~ 時が満ち、新たなムーブメント ~

国際主題: IP 藤井 寛敏 (東京江東)

「Once More We Stand」 「心新たに立ち上がろう」 「Build a Bridge to the Future.」 「明日への橋を架けよう」

アジア主題: AP 高田 一彦 (横浜)

「Once More We Stand」 「心新たに立ち上がろう」 「Realization of World Peace through Y's Activities.」 「世界平和をワイスの手で」

西日本区主題: RD 仁科 保雄 (京都トキビル)

「飛翔たとう ワイススピリットを胸に」 「Forward with Y's men's spirit in our hearts.」

京都部主題: DG 阪田 民明 (京都グローバル) 「ワイスビジョンを、思いやりと共に」 ~世界のワイスが輪になって~

メネット主題: RD 坂本 千春 (大阪ビシヤール) 「愛の心」 ~原点に立ち返って私たちに出来ること~ Let's go back to the start point.



## 『ファンド委員長』

ファンド委員長 安部 英彦

私がキャピタルクラブに入会してもうすぐ3年になります。その3年間ずっとファンド委員会に携わってきましたが、実際、今期委員長をさせて頂き初めてわかった事が数多くあり、とても良い勉強になりました。

今期のファンド委員会は山田英樹会長からキャピタルクラブのファンドの柱であるジャガイモファンドにもし何かあれば困るので、第二の柱になりうるものを模索してみてもは?という提案をして頂き、普段から家庭で必要なもの.....お米! という事で今期はお米ファンドをする事になりましたが、まさか十勝のジャガイモが不作になるなんてその時は思ってもいません

でしたので、山田会長の予言にかなり吃驚させられました。まだまだお米ファンドの販売方法や、今後の仕入先の問題などを考えると課題は山積みですが一歩ずつ目標に向かって進んで行きたいと思います。

今はまだ半期が終わったばかりですが今まで一番印象に残っているのは、やっぱりジャガイモファンドです。自然を相手にしているので当然豊作や不作、できのよし悪しはある事と頭では理解していても注文からの4割カットという前例の無い事態になり、『えらい時に委員長になってもうたなあ...』という思いが頭の中で9割方占めていました。しかしメンバーから『よかったなあ、こんな経験したくてもできひんでえ、ええ時に委員長になったなあ』と声を掛けて頂き頭の中が落ち着きました。ポジティブシンキング。モノは考えようなんだと又一つ大人になった気がしました。

最後にメンバーの皆様常に助けられて、キャピタルライフを満喫させて頂いているんだという事をひしひしと感じていますが、社会でも周りの人に助けられて生活しているんだと改めて考える機会になりました。

聖句の解説 「バベルの塔」の物語は神の位置まで高くなろうとする、人間の傲慢さを戒める話として読み継がれてきました。政治の世界だけではなく、学校や職場や教会においてさえも多くの人が一つにまとまるということは「力」を意味します。それは民主主義という社会の根本ルールの問題というよりも、人間の本能に抜きがたく結びついた「自己保存・自己増大」の我欲を意味するように思います。三人からなるグループで二人が結ばば、残る一人は疎外されます。残る一人がどんなに背伸びをしても肩車をした二人より高く立つことはできません。このように多人数で一つの力を志向し他を排除しようとする人間の本能を「バベルの塔」の物語は戒めています。

しかし、さらにもう一歩進んで考えてみましょう。散らされることは「一つ」や「強さ」を志向する人間の本能に反することです。しかし、「散らされている」からこそ、同時に、私たち人間は「多様性」という無限の可能性や恵みを与えられているのではないかと。この20年間で日本社会の外国籍住民は100万人から220万人になりました。互いの「違い」を神から与えられた恵みとして尊重し、誇りを持って共に生きていきたいと願います。

西日本区  
強読月刊

2月 TOF・CS・FF ワイズの大事な活動資金です。各クラブでしっかりアピールし、しっかり集めて、しっかり活用いたしましょう。 林 良廣 地域奉仕・環境事業主任 (京都エイブルクラブ)

年間強読  
目標PR

景気低迷の今、求められるのはワイス精神。一人でも多くの人に例会や催しに誘い楽しいクラブ、明るく元気なワイスメンを紹介しクラブアフィリエイトや名刺などあらゆる手段でアピールしましょう。 中 原 一 晃 広 報 事 業 主 任 (京 都 ウ エ ス ト ク ラ ブ)

1 月 報 告		例会出席		BFポイント		ニコニコ		ファンド		献血		125周年 募 金
	在籍者数	35名	切 手	4,669 g	第一例会	37,000円	ジャンパー	2,500円	献 血	400cc	第一例会	4,698円
	第一例会	34名	現 金	38,000円	第二例会	10,000円			成 分	1名	第二例会	2,997円
	メネット	5名	切手換金	2,801円	累 計	284,500円			累 計	800cc	今期累計	45,848円
	ゲスト	2名	累計現金	42,699円	(10月第2例会の金額に 間違いがありましたので 訂正致しました)		累 計	691,200円	成 分累計	2名	累 計	447,477円
	第二例会	29名	J W F	0円							(8月第1例会の金額に 間違いがありましたので 訂正致しました)	
	ゲスト	2名	E F	0ドル								
出席率	100%	(12月の累計現金に間違い がありましたので訂正 致しました)										

強い義務感を持つ 義務はすべての権利に伴う  
"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

1月第一例会 2011年1月8日(土) 19:00~21:00  
札幌かに家「京都店」

## 新年例会 — 次期三役発表

大山 孜郎

恒例の新年例会が、祇園の札幌かに家京都店で行われました。私が会場に到着したのはそんなに遅くなかったと思いましたが、既にほとんど全員揃っているようで、活気にあふれていました。

「おめでとうございます!」「今年もよろしく!」と多くの声に囲まれて中に入っていくと、一番奥の席が二つ空いていました。何とその席には岡本さん、勝山さん、内廣さん、石村さんが既に座っておりそこに私です。正にキャピタルクラブの長老(年寄り!)組の席です。

新しいメンバーはご存じない人もおられると思いますが、我がクラブが1983年にチャータナイトを迎えた時のメンバーで、今在籍しているのはこの5名だけなのです。この内岡本さんと勝山さんはスポンサークラブである京都パレスクラブからのキーマンで、残り3名がチャーターメンバーです。(ちなみに残りの席に座ったのは遅れてきた「若き」村田さんです。)

新年例会と関係ないことばかり書いてしまいプリテン委員長におこられそうです。申し訳ございませんでした。

今の我がクラブを象徴するような和気あいあいとした楽しい時間があったという間に過ぎて行き、八木次期会長より恒例の次期三役の発表がありました。ベテランメンバーと新進気鋭のメンバーによる最高の三役です。我々長老組も一安心です。

私は食べ過ぎたのか飲み過ぎたのか分かりませんが、最後に体調を悪くしてしまい何人かのメンバーに心配をかけてしまいました。やはり年ですかね...

今期はまだ3月にメタセコイアフェスティバル、6月には最大イベント「西日本区大会」があります。仁科西日本区理事、山田英樹会長をはじめとして、メンバーの皆様体調に留意して備えましょう。

1月第二例会 2011年1月8日(火) 18:00~21:00  
ウェスティン都ホテル京都

## 半期総会 — 脈々と進化する心意気

— 2名入会で意気あがる —

内 廣 健

松飾りも取れて、本格的な身も縮むような寒さを迎えた例会は、村田深砂子さんの司会で半期総会が山田英樹会長の開会宣言と点鐘で始まり、今期後半の実質的な幕開けとなりました。

冒頭の会長挨拶の中で京都キャピタルクラブが良いクラブとして発展している由縁について、先人の思いが時の会長に依って脈々と受け継がれていることに触れられ、プリテン橋本真一会長(2001年新年号)、石倉尚会長(2003年新年号)、田中雅博会長(2004年新年号)の掲載文が披露されて、時のリーダーの果たして来られた役割を回顧しながら、これからの京都キャピタルクラブの成長に向けての大きな希望を示唆された事が印象に残りました。

半期総会に先立って、長谷川幸男さん(山田英樹さん紹介)と倉見直樹さん(内田雅彦さん紹介)ご二人の入会式が、森繁樹EMC委員長の開式で始まり、山田英樹会長により厳粛に執り行われました。

新会員になられたご二人のスピーチからも、京都キャピタルクラブの真髓に惚れ込んで入会したとの思いを伺うことが出来、「今年は春から縁起がイイワイ」との何処かのセリフを一人呟いた次第です。

その後メンバーの一人ひとりが新会員お二人と固い握手を交わし歓迎の絆を深めた処で手打ちとなり、各事業委員会報告に続いて会食歓談。

半期総会では、キャピタルクラブの慣例に従って山田英樹会長から岡本尚男さんが議長に指名され、満場の承認を得て議長席に着席し、山口雅也書記に依って定足数の確認が成されたあとと会員総数37名、出席会員数31名で本総会の成立が宣言されました。続いて提出議案の「半期事業報告」が各事業委員長に依って行われ、「半期会計報告」が内田雅彦会計に依って行われた後で、総括審議に入り、一部の質疑があったものの満場一致で決裁承認されました。

岡本議長の手際よい進行で、所定時間内に総会は無事終了。

HB、HA、にこにこタイムとプログラムが進められて、内容の濃い有意義な例会は定刻に終了しました。

## 新しい仲間紹介



長谷川幸昌 Hasegawa Yukimasa

生年月日: 1976年9月11日

自 宅: 〒610-1123

京都市西京区大原野上里南ノ町255

自宅電話: 075-331-3607

勤 務 先: BlankyDog 代表

〒601-8121 京都市南区上烏羽大物町47

グランビル十条1F 勤務先電話: 075-691-2198

家 族: 妻 給理 5月16日生 長女 2月12日誕生予定

血 液 型: A型 結婚記念日: 2007年6月3日

モットー: 中道 趣 味: 日曜大工

宗 教: 浄土宗 紹 介 者: 山田 英樹

### 入会して

この度は私の入会を認めて頂きありがとうございます。

皆様から、暖かいおめでとうの言葉をかけて頂きとても嬉しく感じています。

それと同時にこのクラブに紹介していただくことが光栄なことだと実感しています。その紹介者の山田英樹さんとの出会いは6年ほど前です。勢いあまった見切り発車で店を始めてしまった私と当時のビジネスパートナー。

スケルトン状態だった店をちゃんとした店らしくしたいと思い、理想の店作りを求めいろいろと動いていたところに山田さんが当時展開されていたお店に巡り会いました。最初の印象は「話の面白いおっさん(失礼)」。しかし、仕事の話になると的確で説得力のある提案をしていただきとても信頼できる人だと強く感じました。

残念ながらそのときは我々の資金調達がうまくいかず断念したのですが、月日は経ちビジネスパートナーとはお互いに独立して一人で店を切り盛りできるようになり、結婚して低空飛行ながらも墜落せずに店を続けてこられました。

その中で今から一年半ほど前に、これまでのアパート暮らしから自分たちの家を考えるようになり、理想の家を求めいろいろと動いていたところ、またも山田さんの店に辿り着いたのです。

今回はなんとか実現でき、理想の家を建てていただきました。その中で出てきたクラブへの誘い。今度は私自身が理想の人物になれるよう歩みだすときだと感じてます。

皆様の暖かく力強い背中を見て頑張っていきます。今後とも未永くよろしくお願いたします。

# HOP STEP JUMP

—私が入会した動機(時)、そして今—

## やっぱりはじまりは酒だった！

田中 雅博

スポンサーの石倉さんとはある会でいつも顔を合わせていて、その度に「一回飲みに行きましょうね」と言っていた。ただその機会に恵まれないまま迎えた1997年の初夏、ある初老の紳士が「あんたはいつも同じことを言ってるが、いまここで日を決めんといつまでも同じことやで」と言われ、半ば強引に飲みに行く日を決めた。それが私とキャピタルクラブとの関わりのはじまりであった。

その当時何か新しいことを始めたいと思っていたので、石倉さんに他の会にも入っているかと尋ねると、キャピタルクラブについて熱く語られた。おもしろそうなので興味を持ったが、何よりも何でも良いから新しいことを始めようと考えていたので、多分その時には入会すると決めていたと思う。

そして9月に入会式を済ませると、翌月にはアジア地域大会に参加し、それからは三役、委員長、会長...と毎年お役を頂戴している。そういう意味ではホップもステップもなく最初からジャンプしているような気がする。そして未だに着地することなく飛び回っているのかも知れない。

クラブには常に進化することを期待し、その中で自分自身が同じ位置を保つには同様に進化しなければならない。今まではクラブのお陰で自分が成長できたと思う。これからはその恩に報いる段階なのだろうか。ただ内心ではこの6月に今のお役が終わる頃には、できれば一度着地したいと願っている。そして少しはゆっくりとクラブライフを楽しみたいとも思う。そうすればまた新しい可能性が見つけられるかも知れない。

## 出会い、一本の電話 そして別れ

山田 英樹

普段と変わらなかつたであろう、とある日。1本の電話がなりました。携帯電話着信の名前を見ただけで、なぜかドキッとします。

「おまえもそろそろいいんとちゃうか、今日スーツ着て6時ぐらいから開けといてくれ」

大人としてありえない、そんな連絡の仕方でした。普通なら迷惑に感じてもおかしくないと思いますが、その時の私はなぜかうれしかったのです。

さかのぼる数年前、まだ歩くことさえ出来ない幼子を連れ正月の挨拶に訪れたとき、かなり盛り上がった様子の新年会が催されていました。それがワイズメンズクラブとの出会いでした。普段の話から存在はよく知っていましたが間近に接するのは初めてで、やけにまぶしかったのを覚えています。

おかげさまでその時の赤ん坊も大きくなり、石倉さんという素敵なお友達もできました。しかし、本当に人生とは不思議なものだと思います。

出会いと別れ。一言で言えばそういうことなのでしょうが、考えれば考えるほど寂しくなります。

## 小さな巨人にエールを！

柳 慎司

33歳ときに京都市山科区に居を構えました。当時これといった人のお付き合いもなく、平日は仕事をして帰宅するだけの日々が続き、たまの土曜日は酒処へ、日曜日は寝ているだけで趣味もなく、誘われゴルフも年2回程度でした。何となく物足りないと感じ、仕事関係の人ではなく、色々な人とお付き合いをしたい、いやしなればいけないと思っていた頃に、元チャーターメンバーの澤田様のご紹介で、1993年9月仁科会長期に入会させて頂き、以来色々な事業委員長やPT長をさせて頂きました。

ご縁とはすごいもので、仁科さんが京都部長の折には、京都部書記を、翌2004年に第22代クラブ会長をさせて頂きました。その時には例会場の変更を余儀なくされ、現在のウエスティン都ホテル京都に移りましたが、当時まさかホームグラウンドが第14回西日本区大会会場になるとは予想もしておらず、今となっては良き決断だったと思います。2006年には大槻京都部長(現西日本区事務局・京都センチャリークラブ)のともで、ファンド事業主查のお役を頂戴致しました。

ご縁とは続くもので、2010年仁科理事期に西日本区書記という大役を頂き、大槻元西日本区書記のご指導を頂きながら、西日本区会計田中雅博さん、西日本区事務局員山田隆之さんと楽しい事も気苦労も共に分かち合っております。

これがいわゆる、私にとってワイズでのホップ・ステップ・ジャンプです。しかし、人としても事業もステップアップしているのだろうかと自問自答しながら、晩酌をしているようではあきませぬ。結論は人間日々成長ですがまだまだです。

背丈は兎も角、この「小さい巨人」に更なるご指導ご鞭撻のほどをお願い致します。

## 新しい仲間紹介

倉見 直樹 KURAMI NAOKI

生年月日：1967年1月22日

自宅：〒565-0841 吹田市上山手町14-14

自宅電話：06-6386-7599

勤務先：ソニー生命保険株式会社

〒600-8008 京都市下京区四條通

烏丸東入長刀鉾町20 四條烏丸FTスクエア7F

勤務先電話：075-212-8350

家族：妻 享子 1969年3月23日生

長男 駿輔 1996年10月5日生

次男 航太朗 1998年3月30日生

血液型：A型 結婚記念日：6月1日

モットー：明日は今日より素晴らしい

趣味：料理 宗教：浄土真宗

紹介者：内田 雅彦



入会して

ルビン・スタイビー症候群。次男の航太朗がもつ症状の名前です。簡単に言うと知的障害・発達遅延です。今、小学校6年生です。彼は、めちゃくちゃ純粋で人が大好きです。既成概念がありません。昨夏、琵琶湖に家族でBBQに行きました。準備しているとしやんちゃそうなバイクの若者集団が横にきました。

我々大人は、「関わらんようにしよう」とネガティブな考えを持ちました。航太朗はそんなこと関係ありません。大好きな乗り物がそばにたくさんあり、人もいます。航太朗はバイクの若者に「どっから来たん？」と、ニコニコしながら話しかけています。やんちゃそうで、関わりたくないと思っていた若者は、ニコニコしながら航太朗に話してくれています。

ハッ！ としました。こちらの勝手な決め付けでその若者たちを見ていたことに気づかされました。

これまでの経験や知識は大事です。しかし、それらに囚われ過ぎると大事なものを見失うこともあると思いました。

ワイズでは、真っ白な気持ちで皆さんと関わっていきたく思います。よろしく願いいたします。

# 仁科西日本区理事活動記録

- 1月9日～10日 2010年度 次期役員研修会  
仁科・柳・田中(雅)・山田(隆)
- 1月10日 阪和部合同新年会
- 1月11日 京都クラブ新年例会
- 1月15日 中西部合同新年会

西日本区の後半期に向けて  
ウィズの精神を発揮するにふさわしい年明けとなりました。

今期は1700名に達しようとする西日本区と、京都部500名の達成が眼の前になってきました。今期の目標を一つひとつクリアーしつつメンバーの皆さまの協力のもと、14期の完成に向かっています。何時も申していますが一人が入会される度にYMCAの会員が一人増え、私たちの目指すYMCAへの奉仕目的が達成されていきます。私は今、京都キャピタルの活動を他のクラブに紹介して、メンバーの増強がなせ出来ているのかを知っていただきたいと願いながらお話をしています。しかし、なぜか多くのクラブではその活動内容を知る余裕がないようです。やはりいろいろな問題を克服して挑戦し、活性化を図っているクラブのことであり、自分のクラブ発展に生かしていくことが大切であると思います。(仁科 保雄)

## ちょこっと有名人

業界や地域で活躍されておられるメンバー紹介

一昨年秋から大門さんが取組んでいる「エコボール」の記事です(2009年9月17日京都新聞朝刊)。今年は「エコボール」活動が兵庫県に広がる予定になっており、将来的に「障害者と高校球児との輪」が全国的に広がる事を願っています。この



「エコボール」に関してはKBSテレビ・KBSラジオを始め、朝日新聞(2010年12月16日朝刊)他各新聞社も大きく掲載していました。関連記事は「大門和彦オフィシャルサイト」より閲覧出来ます。

## 第15回パープル会

亀井 久照

1月15日、日清みやこカントリークラブにて、第15回パープル会コンペが開催されました。天気予報では午後から雪の予報でしたが、好天に恵まれ、8名の参加者でのプレーとなりました。

優勝 亀井久照、準優勝 西村融正、3位 西川欽一、ブービー 山田隆之

参加者・橋本、石倉、香山、山田(隆)、吉井、西川、西村、亀井

編集後記

2011年に入り、早いものでもう2月。そして、6月にははいよいよ西日本区大会です。6月までにも多くの事業がございます。皆さま、楽しい紙面づくりにご協力よろしくお願いたします。 大山 謙一

## 第7回 役員会議事録

2011年1月25日(火)19:00～21:00  
ウェスティン都ホテル京都 竹の間

<報告事項>

- 西日本区
  - 第24回アジア大会 台湾(宜蘭)8月5日～7日  
参加希望者は書記まで連絡
  - 西日本区大会登録開始 キャピタルクラブ28日までに申込
- 京都部
  - ウィズデー評価会 1月21日 京都YMCA 2名出席  
参加者600名程度 そのうち一般参加者が150～200名程度  
決算は赤字ならず、利益は国際協力募金へ寄付
  - EMCシンポジウム 2月25日 メルパルク京都
- YMCA
  - 夜桜フェスタの協力依頼 屋台出店に関して  
Yサ委員会より例年通りドリンク販売
  - チャリティーラン第1回拡大版実行委員会 1月31日

三

- 東京クラブ80周年 3月19日、20日 現在23名程度
- 献金 主事分の取扱いに関して
- 倉見さん、長谷川さんの配属に関して

<各事業委員会報告>

- Yサ・ユース Yサアワーについての説明・交流委員会との合同開催 ゲスト3名分の費用はYサ委員会より支出
- 夜桜フェスタについて ドリンク販売希望、学生招待寄付各クラブより1万円 Yサ委員会予備費より支出
- 地域奉仕・環境 ロールバックマリア募金 目標残額があるので引き続き例会時受付に募金箱設置
- リトセン メタセコイヤ フェスティバル、バームクーヘンとパン作りを検討

昨年度のCS援助金の残額を今期にあてる方向で検討  
ドライバー委員会 2月第二例会後の懇親会の出欠をとる

交 流 東京クラブ80周年記念会 1月末に出席人数の最終報告、お祝い金については三役と調整、2月第二例会 ユースコンポジション体験談ゲスト2名、図書券を用意、食費も含め交流委員会より支出

フ ァ ンド BF 献金 2月15日までに送金。お米ファン ド 在庫100kgあり

広 報 2～4月号記事内容の確認。原稿依頼回収の期日を報告書に記載する。献血を記載する

E M C 現時点でのゲストリストの確認。新入会員歓迎会の日程調整

<審議事項>  
長谷川さん、倉見さんの委員会配属に関して、2名とも交流委員会配属 承認

<その他>  
石倉西日本区大会実行委員長より いままで経過報告  
これからは毎月実行委員会を開催  
次回三役会 2011年2月17日(木)19時～  
次回役員会 2011年2月22日(火)19時～



## ★ 掲示板 ★

### ▶▶ HAPPY BIRTHDAY ◀◀

- メンバー
- |             |             |
|-------------|-------------|
| 2月7日 柳 慎司   | 2月11日 吉井 崇人 |
| 2月14日 竹田 博和 | 2月20日 森 繁樹  |
| 2月24日 石倉 尚  |             |
| メネット        |             |
| 2月2日 仁科 節子  | 2月6日 内田 直子  |
| 2月19日 神崎 陽子 | 2月28日 瀬本 吉美 |

コメント

- |             |             |
|-------------|-------------|
| 2月2日 山田麟太郎  | 2月12日 菅原 啓人 |
| 2月21日 金原 拓未 | 2月25日 柳 真之  |
| 2月27日 村田 亜紀 | 2月27日 山口 愛乃 |

### ▶▶ HAPPY ANNIVERSARY ◀◀

- |              |       |
|--------------|-------|
| 勝山廣一郎・憲 子ご夫妻 | 2月4日  |
| 山田 隆之・まゆみご夫妻 | 2月18日 |
| 内田 雅彦・直 子ご夫妻 | 2月23日 |

### ▶▶ 4月・5月予定抄 ◀◀

- |          |              |
|----------|--------------|
| 4月1日(金)  | 京都部役員会       |
| 4月2日(土)  | 花見例会(メネット招待) |
| 4月17日(日) | リトセン夜桜フェスタ   |
| 4月19日(火) | 第二例会         |
| 4月26日(火) | 第10回役員会      |
| 5月13日(金) | CATT 合同例会    |
| 5月17日(火) | 第二例会         |
| 5月22日(日) | チャリティーラン     |
| 5月24日(火) | 第11回役員会      |